



平成27年度集団回収実績

平成27年は、全回収量が約13,062トン、申請団体数が463団体となり、昨年より11団体増加しました。しかし、回収量は昨年と比較して、約823トン減少しております。個別品目では、紙パックにおいて回収量が増加したものの、それ以外の品目で回収量が減少しました。資源の有効な利用の促進に今後ともご協力ください。

対象品目	平成26年度	平成27年度	伸率
新聞	8,538	7,938	△7.0
雑誌	2,356	2,237	△5.0
ダンボール	1,931	1,838	△4.8
古布	762	745	△2.2
紙パック	133	151	13.0
アルミ缶	156	146	△6.3
リターナブルびん	10	8	△21.3
合計	13,885	13,062	△5.7
申請団体数	452	463	

※ 回収量の単位はトン、小数量第1位を四捨五入。また、四捨五入の結果により、品目ごとの回収量と合計が一致しない場合があります。



奨励金の申請について

申請時期 1月～6月 回収分 ⇒ 7月中旬に
7月～12月 回収分 ⇒ 翌年1月中旬に

お知らせをお願い

～◇ 申請時にご確認ください！ ◇～

～東大阪市再生資源集団回収奨励金交付申請書～

- ① 「実施団体名」は登録の際にご記入いただいた名称を！（漢字・ひらがなの表記間違いがあります。）
- ② 代表者の印鑑は鮮明に！捺印も押してください。
- ③ 奨励金の金額も計算して記入してください。
- ④ 振込口座は正確に！特に口座名義に団体名が入っている場合は、すべて記入してください。フリガナも必ず必要です。
- ⑤ 口座名義が代表者と異なる場合や、個人名義のものは委任状が必要です。

～集団回収事業実施内訳明細書～

- ① 仕切伝票ごとに回収量を転記してください。仕切伝票の枚数分だけ、段を変えてください。
- ② 回収量の合計を東大阪市再生資源集団回収奨励金交付申請書（様式2）に転記してください。

～再生資源集団回収仕切伝票～

- ① 団体控、市提出用、業者控の3枚複写になっています。申請の際は市提出用を添付してください。
- ② 業者印漏れがないか確認を！印鑑が漏れている場合は受付できません。

前回は、活動団体の取材と様々な古紙をリサイクルしている工場を見学しました。今回は、平成26年度に実施した集団回収に関する市民アンケート結果、ごみ組成調査結果、アルミニウム再生工場の見学の内容について掲載しております。たくさんの方のアルミニウムが溶解されている様子はすごく迫力があり、普段中々見ることができない貴重な経験でした。お忙しい中、取材をお受け頂きましたアサヒセイレン株式会社様にはこの場を借りて厚くお礼申し上げます。次回以降も取材記事の掲載を続ける予定ですので、「こんなことが知りたい！」「うちの取組みを紹介してほしい！」といった声があれば是非ご連絡ください。



【東大阪市版】

集団回収エコだより

今回はみなさんにご協力いただいております「集団回収対象品目」のアルミ缶がリサイクルされる過程を掲載しております。



工場見学（アサヒセイレン株式会社）
～アルミニウム再生施設を見学～

発行：東大阪市再生資源
集団回収推進協議会
会長 村田俊明



（事務局：環境部循環社会推進課）
〒577-8521
東大阪市荒北1丁目1番1号
【TEL】06-4309-3199（直通）
【FAX】06-4309-3818
【E-mail】junkanshakai@city.higashiosaka.lg.jp
【ウェブサイト（集団回収）】
<http://www.city.higashiosaka.lg.jp/000007784.html>

東大阪市 循環社会推進課 検索



紙類の排出状況について

市民アンケート実施結果

東大阪市が平成26年度に実施した市政世論調査（調査対象者2,709人）によると、古紙類（新聞・雑誌・ダンボール）を集団回収に出している人が全体の62%であり、家庭ごみ（燃えるごみ）に出している人が全体の24%を占めていました。

また、集団回収を利用していない理由として、排出日時や場所、品目がわからないと答えた方が多く、集団回収の認知度の低さが目立っております。

集団回収の活性化に向け、実施団体のみなさまには引き続き活動にご理解とご協力をお願いします。

○古紙類をどのように排出していますか？

62%	24%	14%
集団回収	家庭ごみ	その他

○集団回収を利用していない主な理由

- ・排出日時や場所、品目がわからない
- ・回収頻度が少ないため、日程が合わない

（平成26年度市政世論調査結果より）

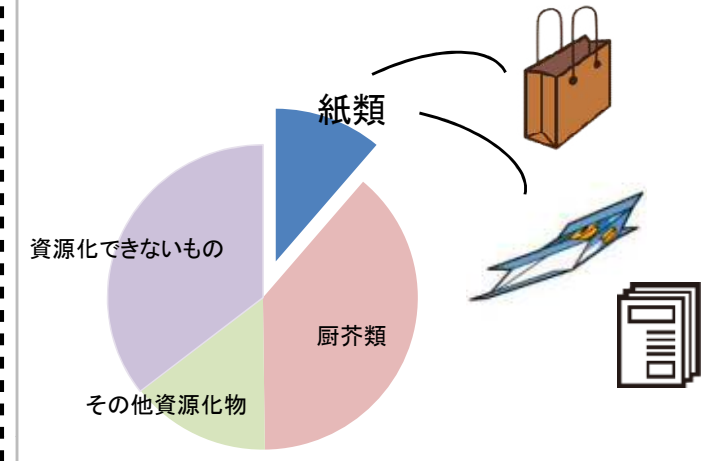
ごみ組成調査結果

東大阪市が平成26年度に実施したごみの組成（家庭から出るごみの排出実態）調査結果によると、資源化可能な紙類が11%排出されておりました。

資源化可能な紙類には、新聞紙やダンボール、紙パック以外にも雑がみと呼ばれるものがあります。

雑がみには、紙袋やお菓子の紙箱、トイレットペーパーの芯など様々なものが含まれています。

当協議会においても、このような雑がみのリサイクル推進に向けた取組みを進めていきたいと考えています。



トピックス

工場見学



アルミの再生施設を見学しました！
我々の生活の場面あちこちに存在するアルミが
どのように生まれ変わるのかご覧ください！！



アルミ缶



スプレー缶



ラジエーター

排出



ホイール

アルミ製品が仕分けられ、
集荷されます

これらが使いふるされ、スクラップを扱う
専門業者や商社を経て、アサヒセイレン
株式会社などの再生メーカーが購入し、
リサイクルされています。



ご協力企業様  **アサヒセイレン株式会社**

〒582-0004 大阪府八尾市太田9丁目37番地
設立 昭和10年11月
TEL 072-953-2212
URL <http://www.asahiseiren.com>



不純物を含んだアルミ
スクラップを前処理します。



回転炉



反射炉

前処理されたアルミスクラップが、
反射炉に投入されます。お客様のニーズ
に沿った成分調整を終え、鑄造されます。

精錬



これらが消費者へ供給されます。



製品

アルミニウム合金地金は、主に自動車
メーカー、圧延メーカー、製缶メーカー他
に販売され、アルミ製品に生まれ変わります。



出荷